

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)		総合評価				
よく考え、工夫する子ども 人やものにやさしい子ども 進んで取り組み、やりぬく子ども	笑顔あふれる 中塩田の子 ～一人になれる 一つになれる～			後期、「UD化やICTを用いた授業改善」・「個々の児童の様子をとらえ良さを広げて、児童が安心して自己表現し学べる環境」を整えてきたことで、児童がわかったと実感している様子が前期よりも高まった。また、互いの人間関係が築かれてきたことで「困ったことを相談できる」と感じる児童も増えてきている。感染予防対策を実施しながら、諸行事を行ってきたことで、異年齢の友との交流などを通して、相手を思いやる気持ちも高まった。来年度は、「挨拶ができた」や「進んで取り組めた」と感じられる児童をよりいっそう育てるように努めていきたい。				
	今年度の重点目標			成果と課題				
	①	よく聴いて、自分の思いを表現できる子(話す・書く)		A	B	C	D	改善策・向上策
	②	自分から挨拶し、相手を大切にできる子(温かい言葉・思いやり)						発表に抵抗感を示す児童もあり、正解を求めるばかりでなく思いを伝えることの魅力をペアやグループでの活動で示していきたい。
③	友と協力し合い、作業や活動に根気よく取り組む子(黙々活動)						マスクをした生活の中でも互いに気持ちの良い挨拶が交わされるよう、できている姿を積極的に伝え、粘り強く声をかけていきたい。	
								決められた仕事だけでなく、気づいて自主的に動ける姿へ向上させていきたい。

領域	対象	評価の観点	評価方法	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標	①	A わかりやすい板書	「学習問題」「まとめ」を板書計画に位置付け、1時間の授業の流れが分かる板書を心がけているか。	アイウエオ	多くの児童が分かりやすいと感じている「1時間の授業の流れが分かる取り組み」を継続していくとともに、振り返りでの活動時間を確保していく。		○		1時間の授業の計画と板書計画をこれからも丁寧に行い、子どもたちが自ら追究し分かったと感じられる授業づくりをしていきたい。
		B 振り返りの時間の確保	1時間で学べた内容や学び方を振り返る時間を確保し、子どもの考えの変容や定着状況を確認しているか。	アイエウ	見通しをもった授業展開を志すようにしてきたことで、授業の振り返りができたと感じている児童の姿が増えた。		○		振り返りの観点を明確にして、限られた時間の中でも子どもたちが学びの高まりを感じられる時間にしていきたい。
		C 家庭学習の充実	家庭学習の手引きをもとに、家庭と連携した家庭学習の充実に努めているか。	アイウエ	子どもたちの宿題や自主学習への取り組みの様子が定着してきていると感じている。教師の思いを個々の児童に伝えてさらに良い取り組みにしていきたい。		○		家庭学習の手引きの年度途中での活用方法などを検討し、伸びてきている子どもたちの姿を共有できるようにしたい。
	②	D 楽しくけじめある学校生活	「挨拶・返事・靴そろえ・場に応じた姿勢」を大切に、児童会と連携して安全、安心、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか。	アイウエオ	全体的にけじめをつけて学校生活をおくることができている。廊下歩行と授業中の姿勢については、引き続き課題として取り組んでいきたい。		○		授業中の姿勢については、日々の体作りにも関わる部分でもあるので、関係する係を中心に具体的な取り組みを検討していく。
		E 異年齢の友だちとの活動	なかよしタイム、なかよし読書などの異年齢活動を通して、子ども同士が温かい言葉をかけ合い、相手を思いやる意識が高まったか。	アイウ	2学期後半は、様々な形でペアとの交流活動を行うことができた。ペアと関わる中で、相手のことを大切にすることが多く見られた。		○		来年度もできる範囲で交流時間を設け関わりが深まるようにしていく。
		F 交流活動の充実	地域の方々や園児・福祉施設の方々との交流活動に児童が楽しんで関わり合えるよう取り組んだか。	アイウオ	コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせてきた。				コロナウイルス感染拡大予防対策をとりながら、活動を行えるようにしていきたい。
	③	G よく考え行動する児童の育成	よく話を聴き、深く考え、自ら気づいて行動する気持ちを高めたか。	アイウ	できている姿・気づいて行動できた場面を認めて、他の子どもにも広めてきたことで、行動に移そうとしたと答える児童の割合が増えた。			○	自分で考え行動できる場を意識して作ってきたい。根拠を問うたり、子どもに任せる活動を取り入れていきたい。
		H 体力向上の継続的な活動	マラソンや縄跳びを取り上げ、進んで継続的に体力向上に向けた活動ができるよう指導を工夫できたか。	アイウ	マラソン月間や体みがき体操など、継続的に挑戦している児童の姿も見られた。さらに、多くの児童が体力向上に向けて取り組める環境を作ってきたい。		○		学年や委員会で、興味を持って継続して取り組める活動内容を検討していきたい。
		I 仕事に対する意識の醸成	清掃活動や当番活動・係活動、花壇での花作り等を通して、役割を担うことの大切さや仕事に対する意識を醸成したか。	アイウエ	1学期に比べて、子どもたちが任された係の活動や委員会活動の中で活躍する姿が多くなってきた。		○		子どもたちのがんばる姿や取り組みを子どもたちが自覚できるように声がけをしながら、更なる意欲につながるようになっていきたい。
学校運営	J 地域との連携	地域ボランティアとの連携を通して、読書・学習・体験活動・交通安全に対する意識を高めたか。	アイオ	チャレンジタイム・読み聞かせ等、子どもたちとあたたかい関わりをしていただき、子どもたちの励みになっている。		○		多くの人にボランティアとして協力いただけるように支援を募っていく。	
	K 授業のユニバーサルデザイン化	一人一人の子どもにもわかりやすい授業となるように、学習環境を整えることができたか。	アイウオ	板書時の取り組みや教室環境、視聴覚機器の活用など、わかりやすい授業づくりのための実践を積み重ね、授業公開や通信で情報交換ができた。		○		視聴覚機器の活用や授業実践など、それぞれの教員が工夫し、実践していることをさらに共有できるようにしていきたい。	
	L 職員研修の充実	子どもから学び、子どものための授業にするために、教職員が互いの実践に学び合いながら研修し、授業に生かすことができたか。	アイ	本年度、導入された情報端末の利用について研修の機会をもちながら学んだことを子どもたちとの授業の中で活用することができた。		○		情報端末の利用についての研修も進めながら、より子どもたちの学びにかえる研修を計画して行っていきたい。	
	M いじめへの対処	いじめを防止し、いじめが起きた際、適切に対処することができているか。	アイウエオ	困ったときに周りの人に相談できているという児童の割合が増えている。これからも関係づくりを大切にしながら、早急に対応できるようにしていきたい。		○		これからも気づいたときにその場で指導し、チームとして機能し、対応していけるように職員の人権感覚を磨いていきたい。	